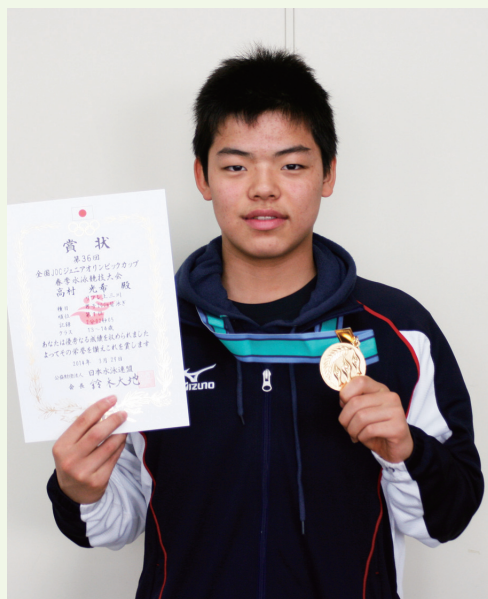




第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会に出場し、日本一の栄冠を獲得
したお二人を紹介します。

まずは、13、14歳クラス男子200m背泳ぎに
出場し優勝した、明治中学校の高村光希さんです。
高村さんは、お母さんと一緒にベビースイミン
グに行き始め、その後、小学校3年生頃に選手コー
スに移ってから、本格的にスイミングを始めたよ
うです。日曜日以外は水泳の練習をしているため、
学校での勉強と両立させながらした練習の積み
重ねが今回の優勝につながったのだでしょう。優勝
したときは、「実感がわかなかった。気がついたら
1番だった…」らしく、周囲の賑やかな様子とは
違い、本人は、いたって冷静な様子でした。

これからの目標としては、中学生の全国大会で
優勝すること。日本一になるのは、簡単なことではあ
りませんが、今回の優勝で得た自信を胸に、優勝を
目指して頑張つてほしいです。また、50mや100m

わが町の輝ける星

JOC
ジュニアオリンピック
水泳競技で日本一!!

たか むら こう き
高村光希さん(明治中学校)

ちか さわ う な
近澤卯菜さん(上三川中学校)

も力をつけたいと、常に上を目指す向上心を感じました。

続いて、11、12歳クラス女子200mリ
レーにメンバーの1人として出場し優勝し
た、上三川中学校の近澤卯菜さんです。

近澤さんは、周囲に水泳の関係者が多く
いたこともあり、スイミングのベビークー
スにお母さんと行き始め、小学校低学年頃
に育成コースに移ってから本格的に始めた
ようで、今は選手コースで、日曜日以外は
水泳の練習をしているようです。当時は小
学生でしたが、勉強と両立して練習に励
み、リレーの他のメンバーと時には競い合
い、時には励まし合い、その積み重ねが今
回の優勝につながったのだでしょう。優勝し
たときは、「実感がなかったが、嬉しかった」



と率直な感想を、笑顔で答えてくれました。

これからの目標としては、中学生の全国大会に
出場すること。全国大会に出場するには、厳しい
予選を勝ち抜かなければならず、今まで以上の努
力が必要になりますが、今回の優勝を自信にし
て、頑張つてもらいたいです。また、長距離も強
くなりたいという目標もあり、常にチャレンジする
気持ちを持ち続ける大切さを感じました。

その2人が目標とする選手は、ロンドンオリ
ンピック銅メダリストの萩野選手で、実際に本人に
会ったこともあるようです。栃木県出身であるた
め身近な存在でもある萩野選手に会うことによ
り、勝つことの難しさや勝つために必要なこと
を、肌で感じ取ったことでしょう。

また、2人とも将来の目標は、オリンピックに
出場すること。近い将来、オリンピックの表彰台
の上で、首からメダルをかけている姿が見られる
ことを願つて、応援し続けていきたいですね。